
第49回 安全工学シンポジウム（安全工学シンポジウム2019） 「多様化する社会の安全・安心」

主催：日本学術会議 総合工学委員会・機械工学委員会合同工学システムに関する
安全・安心・リスク検討分科会

共催：日本化学会、他34学協会

1. 会 期：2019年7月3日（水）4日（木）、5日（金）

2. 会 場：日本学術会議（東京都港区六本木7-22-34）

〔交通〕東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

3. 講演

【特別講演】7月4日（木）12:30～13:30（予定）

「大転換時代と安全・安心（仮題）」

講演者：安井 至 氏 一般財団法人持続性推進機構理事長、東京大学名誉教授
前独立行政法人製品評価技術基盤機構理事長

【基調講演】7月5日（金）13:00～14:00（予定）

「大型イベントの危機管理

～オリパラ・万博を安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～」

講演者：野口和彦 氏 横浜国立大学

【パネルディスカッション】

・未来社会の安全・安心（仮題）（連携PD）

・安全目標の新たなる体系化

・安全活動と人材育成

・大型イベントの危機管理

～オリパラ・万博を安全に迎えるために地震からテロまで多様な危機に備える～

【オーガナイズドセッション】

1. 遺棄化学兵器の廃棄に係るリスク評価・管理

2. エアバッグ安全に関わる課題と対策について

3. 今後のNTS（ノンテクニカルスキル）訓練を考える

4. 再発防止の取り組みについて～事故防止のあり方を考える

5. RBISM (Risk Based Safety Management) の紹介と産業界での実施、展開

6. リスクセンス向上手法の開発と実践

7. リスク共生社会に於けるリスクマネジメント活性化手法の開発

8. 建造物の計画から維持管理までの安全

9. 大規模火災に対する建築物等の安全性確保と継続使用

10. 電気電子機器の発火リスク

11. 学際的リスク学分野の体系化～「リスク学事典 2019」

12. 電気設備の品質向上とメンテナンス高度化における安全・安心技術

13. 効果的な警告音とは何か

【一般セッション】 59題程度

4. 参加方法：自由参加。当日直接ご来場下さい。入場無料です。
5. 講演予稿集：当日会場で実費頒布します（一般 5,000 円，学生 2,000 円）
6. 懇 親 会：7月4日（木）16：30～18：30（予定）
会費 3,000 円（予定）

問合先事務局：公益社団法人 日本化学会

E-mail：anzen@gakkai-web.net <http://www.anzen.org/index.html>